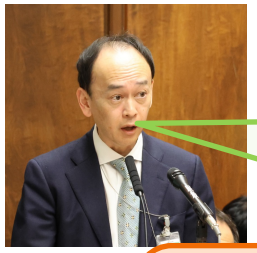
決算委員会：声優さんの声を無断で機械学習した生成AIについて

- 決算委員会（2024/04/15）
  - AIと知的財産権等について（生成AIと声優の声）

→ 内閣府　奈須野太 知的財産戦略推進事務局長、経産省 井上誠一郎 審議官

声優さんの声を無断で機械学習した生成ＡＩなんかも出ていまして問題視する意見も多いんですが、
現行法上このような生成ＡＩに歯止めを掛けることはできないのか。



内閣府（奈須野太君）

…検討を行いまして、具体的な事案にもよりますが、**著作権法、**
商標法、不正競争防止法などで声を保護するということには限界があるというような議論になっております。

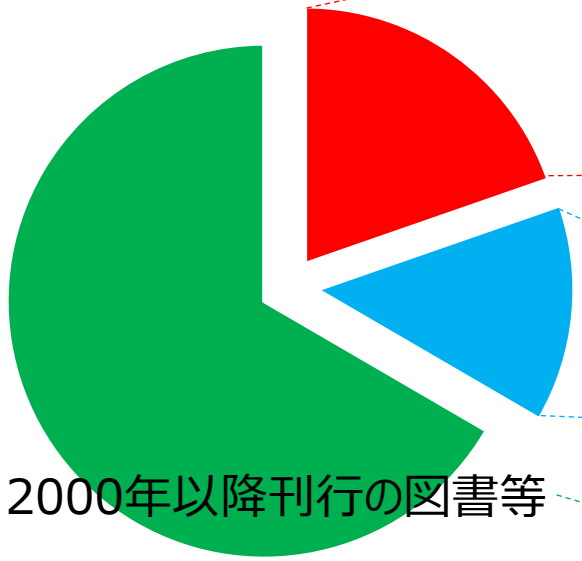
韓国では有名人の無断不正使用に関しては不正競争防止法で対応しているということなんですが、
同様の法改正について、これ経産省の方で検討すべきだと思いますが、いかがですか。

経済産業省（井上誠一郎君）

現行の不正競争行為との関係におきまして、考え方の整理を行い、
必要に応じて不正競争防止法の見直しを検討してまいりたい。

国会図書館のアーカイブ状況（2020年8月時点）

- 1969年以降の図書等（80%）はデジタル化されていなかった
- 1969年から2000年までの図書等（14%）をデジタル化しても2/3は手付かずの状態



1968年以前
刊行の図書等
（244万点：20%）

1969年~2000年まで
刊行の図書等
（170万点：14%）

2000年以降
刊行の図書等
（826万点：67%）

2000年以降刊行の図書等

蔵書全体1,240万点

ネット公開(著作権期間満了)	37万点（15%）
図書館送信*(絶版)	147万点（60%）
館内限定(その他)	60万点（25%）
計	**244万点（100%）**

*図書館送信：登録した国内外の図書館等約1200機関から、絶版等資料を利用できるサービス。

出典：国立国会図書館提供資料をもとに山田太郎事務所作成

国会図書館のアーカイブ状況（2023年3月時点）

2022年度
受入点数
約45万点

図書
約19万点

雑誌
約26万点

① デジタル化資料の提供状況（令和５年３月末現在）

資料種別	インターネット公開 著作権保護期間満了等	図書館・個人送信[2] 絶版等資料	館内限定 その他	合計
図書	３６万点	８５万点	３７万点	１５８万点
雑誌	２万点	８２万点	５２万点	１３６万点
博士論文	１万点	１４万点	２万点	１７万点
その他	１９万点	４万点	１０万点	３１万点
（合計）	５８万点	１８４万点	１０１万点	３４３万点

＊１：令和２年度補正予算（第３号）及び令和３年度補正予算（第１号）に基づくデジタル化で約６０万点増加。
令和４年度補正予算（第２号）により、さらに図書約４０万点のデジタル化を実施予定（ただし点数は、資料のページ数によって異なる可能性がある）。
２０００年刊行分までは残り約６９万点。
＊２：概数のため合計が合わない場合がある。

出典：国立国会図書館提供資料

決算委員会：国立国会図書館のデジタルアーカイブについて

- 決算委員会（2024/04/15）
  - デジタルアーカイブについて

  → 倉田敬子 国立国会図書館長

これまで補正を中心に予算措置をして2000年までのデジタル化は進めてはきたんですが、2000年以降のものをどうされるのか、この辺り、館長の方にお伺いしたいと思います。

2000年代以降に刊行された図書につきましては、出版市場の流通状況や民間における電子書籍化の取組を踏まえ、刊行時期に応じてデジタル化のタイミングを計っていく予定でございます。

決算委員会：漫画のカバーや帯について

- 決算委員会（2024/04/15）
  - デジタルアーカイブ（漫画のカバーや帯について）

  → 倉田敬子 国立国会図書館長

漫画の方の、漫画家の方が単行本の際に特別に描いたカバーというのは貴重なもの。特にライトノベルなんかのカバーや帯そのものが価値がある。現在、それを全部取ってしまって保管されているので、せっかくのカバーや帯がが見れない。
是非、**納本された出版物のカバー等もしっかり取っておいて、その保管、アーカイブの対応もお願いしたい**のですが、図書館長、いかがでしょうか。

…原本であるカバーや帯そのものの保存、保管について検討する必要がございます。一方、電子書籍にはカバー部分も含まれていることから、**今後は電子書籍の収集によりある程度原本のカバーの保存に変えることができると見込んでおります**。
以上の状況を踏まえ、カバーや帯の保存、保管の可能性について今後検討してまいります。

決算委員会：デジタルアーカイブ振興法について

- 決算委員会（2024/04/15）
  - デジタルアーカイブ（デジタルアーカイブ振興法について）

  → 高市早苗　総務大臣

総合的に、デジタルアーカイブ振興法のようなものをしっかり制定した上で、どうしても縦割りになってしまっているところを、特に高市大臣のリーダーシップの下で、あらゆるこのデジタル化に対応したデジタルアーカイブの在り方を検討していただいて、その法案制定まで是非お願いしたいと思いますが、大臣、よろしくお願いします。

…今年の六月を目途に策定を予定しております**「知的財産推進計画2024」におきましても、このデジタルアーカイブの構築、利活用に向けた取組をしっかりと位置付けて、積極的な取組**を進めてまいります。